事業所名	（児童発達支援） このこのビレッジ八王子追分	支援プログラム	作成日	2025 年	1 月	15 日

法人（事業所）理念		関わる皆様へ安心と喜びのあるより良い日常に貢献し、最良の支援の提供を約束する 全ての児童の健やかな成長と、一人ひとりの特性に合った支援を提供します。 児童にとって安心して楽しい時間を過ごす“もうひとつの居場所”の提供と、同時に保護者にも安心を提供できるように務める。		
支援方針		①児童の持っている能力を伸ばし、自立力を向上させる療育を行います。 ②児童の特性を理解し、最適な個別活動や集団活動を通して身体と心の成長をサポートする。 ③ご家族や関係機関との協力を求め、適切な環境、もうひとつの居場所をつくります。		
営業時間		11 時 00 分　から　17 時 00 分　まで	送迎実施の有無	（あり）　なし
		支　援　内　容		
本人支援	健康・生活	(a)健康状態を把握する。到着時の検温、また活動中も常に観察を行い健康状態や心身の異変の把握に努める。 (b)生活のリズムや生活習慣の習得。定時でのトイレ介助、誘導、、おやつを利用した摂食への援助等の実施。 (c)子供たちの身体も心もリラックス出来る、快適で心地よい環境を作り提供していく。		
	運動・感覚	(a)姿勢と運動・動作の向上。遊びや課題を通して、身体や手先の使い方の練習します。 (b)動作の補助的手段の活用。障害の特性に合わせた適切な姿勢での活動が行えるよう、各々に合わせたポジショニングを行っていく。 (c)保有する感覚を総合的に十分活用できるよう。運動遊びや個別での課題(認知、言語、社会性等)をとおして支援していく。		
	認知・行動	(a)認知の発達と行動の習得。視覚支援を活用し（スケジュールや手順の提示および自分で見て確認・行動することを促す）、見通しを持った自主的な動きに繋げていく。 (b)物や空間、時間等の概念の形成を図ることで、認知や行動の手がかりとして動きが伴うよう支援していく。 (c)対象や外部環境の適切な認知と適切な行動の習得。自分の気持ちや行動に気付いて調整しようとするなど適切な行動への対応の支援を行っていく。		
	言語 コミュニケーション	(a)具体的な事物や体験と言葉の意味を結びつける等により、体系的な言語理解を促す。 (b)言語や絵、記号を用いて相手の意図を受容し、自分の考えを表出する支援を行っていく。 (c)様々なコミュニケーション手段、手法を活用し、環境の理解と意志の伝達が円滑にできるよう支援を行っていく。		
	人間関係 社会性	(a)職員とのふれあいを大切に、声がけをしていくことで信頼関係を築き、人と関わることの楽しさを感じてもらえるよう支援していきます。 (b)お子様同士の輪も意識し、集団の療育活動においても楽しく参加できるよう支援をしていきます。		
家族支援		保護者様へ可能な限り情報提供をして参ります。 保護者様方が、お子様の成長に伴う悩みや思いを共有できる場を定期的につくっていきます。	移行支援	可能な限り早い段階より関係機関との情報共有を図って参ります。
地域支援・地域連携		地域との交流、また関係機関との連携を図り、保護者様の思いを大切にし寄り添いながら、地域で安心できる関わりを作っていきます。	職員の質の向上	日々の支援についての気付き、情報共有を定例の会議等により共有 関連業務についての内部・外部の各種研修会、勉強会などへの参加 関係事業所との情報交換を積極的に実施
主な行事等		季節の行事・制作やレクリエーション、感覚遊び、音楽療育、進級・卒業お祝い会、避難訓練参加、外出イベント ※定期的なお誕生日イベント、ムービー作成など		